

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和55年9月8日

第22報

## 植物プランクトン

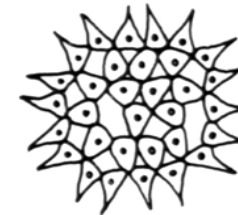
(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	40		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	600		
(珪) <i>Melosira italica</i>	60		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	120		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	160		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Gonium pectorale</i>	320		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	640	○	
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	200		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1920	◎	◎
(緑) <i>Coelastrum microporum</i>	120		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	60		◎
(緑) <i>Staurastrum pingue</i>	20		
(藍) 藍藻綱	60	1.4	18.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	980	22.2	14.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	1.8	1.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	3300	74.7	65.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	4420	総体積	7.57E+06
種類数	17	( $\mu\text{m}^3$ )	

## 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1920

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	640

### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ピワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Dictyosphaerium pulchellum***  
(ディクテオスファエリウム プルケルム)  
緑藻綱

4, 8, 16, 32細胞からなる球形ないし卵形の定数群体で、透明な寒天状の基質で包まれている。細胞はほぼ楕円形で、群体の中心から放射状に伸びる寒天状の紐状体でつながっている。

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。